科目ナンバリング							
授業科目名<英訳>	人文地理学各論III（歴史地理） Topics in Human Geography III(Historical Geography)			担当者所属職名・氏名	文学研究科　教授　　米家　泰作		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	月2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

歴史を空間的な観点から研究する分野、「歴史地理学」の視点と成果を概説する授業です。

歴史学と地理学の特色を併せもつ歴史地理学は、人間が長い年月をかけて作り上げてきた村落や都市、交通や領域のなかに潜む空間的な秩序に、関心を寄せてきました。また、そのような秩序のなかに生きる人間が、自らの地域や世界をどのように認識してきたかという「地理思想」の問題に取り組んできました。

当授業では、具体的な事例を通じて歴史地理学の考え方に触れることで、過去を空間的に、そして現在を歴史的に捉える視点を養うことを目標とします。

[到達目標]

地理・景観・環境を歴史的に、そして歴史を空間的に捉える視点を身につけ、地域が歴史的に形成された秩序であることを考察する能力を養う。また私たちの地理的な知識や認識自体が、歴史的に形成され、特定の地理に根ざしていることを自覚し、それを相対化する力を身に付ける。

[授業計画と内容]

I. 空間に刻まれた秩序
- １．史料としての景観―京都に平安京を読む―
- ２．方格化された農村―条里の景観―
- ３．都市プランを読む―都城と城下町―
- ４．村落領域という秩序―コモンズと基礎地域―

II. 地図が可視化する世界
- ５．世界を図像化する―地図と宗教的真理―
- ６．日本の自画像―行基図と異域―
- ７．国土図と国家―空間の計量と可視化―
- ８．植民地と地図―日本北方の探検と領土―

III. 空間の管理と支配
- ９．領土を記述する―地誌という文化統治―
- 10．村落行政と村の地理―村絵図と巡見―
- 11．風景と統治の眼差し―叙景と鳥瞰―

IV. 空間に歴史を見いだす
- 12．史蹟の空間―歴史認識の場所―
- 13．古図と歴史地理的心性―過去を可視化する―
- 14．他者と過去の心象地理

人文地理学各論III（歴史地理）(2)へ続く↓↓↓

人文地理学各論III（歴史地理）(2)

・定期試験
・フィードバック（方法については別途連絡）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験（小論文）で評価します。その際、授業で示した視点の理解度と、受講生自身の考察の展開を、あわせて評価します。

[教科書]

使用しない
レジメ・資料はプリントして授業時に配布します。また、レジメはPandaにも掲載します。

[参考書等]

（参考書）
足利健亮『地図から読む歴史』（講談社（学術文庫））ISBN:978-4062921084（歴史地理学の発想の楽しさを示す一書。）
有薗正一郎ほか『歴史地理調査ハンドブック』（古今書院）ISBN:978-4772215671（日本の歴史地理学で用いられる史料やその分析手法を概観。）
Ｂ・グレアムほか『モダニティの歴史地理』（古今書院）ISBN:978-4772214704（英語圏の歴史地理学の動向を紹介。担当教員は訳者の一人。）
Ｊ・モリッシーほか『近現代の空間を読み解く』（古今書院）ISBN:978-4772231848（英語圏の歴史地理学の鍵概念を概説。）
伊藤喜栄『教養としての地歴学―歴史のなかの地域―』（日本評論社）ISBN:978-4535584778（空間的な秩序の形成を体系的に論じる。）

（関連ＵＲＬ）

http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/sD3iQ(**京都大学教育研究活動データベース**)
https://www.facebook.com/komeie.taisaku(**フェイスブック**)

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業で示す参考文献を読んだり、取り上げた地域を実際に訪問するなどして、主体的に関心を深めることを期待します。

[その他（オフィスアワー等）]